

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 10 号



目 次

展望

Gödel 集合論 II 山岡 悦郎 (1 ~ 24)

論説

ロマンスを読むことのアレゴリー 小田 敦子 (25 ~ 36)
—— *The House of the Seven Gables* の家・肖像・崩壊感 ——

「カリバンの眠り」 稲賀 繁美 (37 ~ 44)
—— オディロン・ルドンの忘れられた一文学源泉 —— (仏文)

希望の終わり 宇京 早苗 (45 ~ 59)
—— DDR における Hans Mayer の場合 ——

レッシングの寓話論 (その一) 太田 伸広 (61 ~ 77)

ブレヒトの『ルクルスの審問』 友永輝比古 (79 ~ 83)

外国語教育と社会環境 ルート・ライヒェルト (85 ~ 95)
—— 回顧と展望 —— (独文)

フィリピン・レイテ島における農村の就業構造と畑作農業経営について
..... 安食 和宏 (97 ~ 111)

白居易の詩に於ける陶淵明の影響 西村富美子 (三 ~ 罌)
—— 〈北窓三友〉及び〈竹窓〉の詩 ——

王勃の序について 道坂 昭廣 (一 ~ 言)

研究ノート

アメリカの科学史はいかに描かれてきたか 小川真里子 (113 ~ 124)

三重大学人文学部

1993